

新たななる挑戦

― 危機感と緊張感の中で ―

神奈川県議会議員

おざわ良央

よしなか

神奈川県議会議員二期目の最終年になりました。多くの皆様から、あたたかなご声援、厳しいご意見をさまざまにいただき、受け止めてきました。また、新しい出会いや体験の連続で、市民の皆様の思いや悩みが、心身の隅々まで沁み入るような有意義な日々でした。



企画制作・おざわ事務所
Tel.0465-35-0001 Fax.0465-35-4666
info@ozawayoshinaka.com

【議会活動】

平成二十八年二月、初めての一般質問は、緊張感の中で、地元目線の主張や質問に偏りすぎていないか、と自問自答しながらも精一杯でした。

県西地域の広域連携、農業漁業の基盤整備、観光活性化、津波対策、伊豆・湘南道路構想、市内道路の整備促進等について知事や県の考え方、対応を質しました。未熟でしたが、市民県民目線を常に意識していました。

二期目の昨年三月には、自民党県議団四十九名を代表して、「代表質問」をする機会を得ました。政務調査会副会長として知事や教育長、警察本部長等に問いました。

市町村連携、高校入学者選抜制度の改善、中小企業支援、県立高校改革、中高年や子ども達への対処、県警察組織と女性警官の見直し、急傾斜地崩壊対策、と県政全般にわたる質疑で、県の前向きな答弁も引き出し、私なりに成果を得た、と自負しています。二期目の役職も、現職の文教や二常任委員会の副委員長を経験、現在は、**安心対策特別委員会委員長の重責**を担い、政策や事業の実現を目指す立場だけでなく、議会運営を担う責任の重さや難しさを実感しています。

【党県連副幹事長】

自民党の神奈川県支部連合会副幹事長も連続して三年。政党人としても忙しい日々です。

神川県連では、幹事長のもと七人の副幹事長がいますが、横浜等の



二期目の県議任期もと僅かです。現状に常に危機感、緊張感を持ち、未来へ向かって「新たな挑戦」です。

おざわ良央県議の現職

- 文教常任委員会「副委員長」
- 安全安心対策特別委員会「委員長」
- 予算委員会「委員」
- 神奈川県自然環境保全審議会「委員」
- 自民党神奈川県支部連合会「副幹事長」留任

東部の大都市選出が殆どで、県土面積の約半分を占める相模川以西では私一人です。圏域全体に目配りしながらも、小田原市選出の県議としての立場も強く意識しています。

【未来への課題】

今、地域社会は「コロナからの再生」を目指して、医療体制整備、子ども達や女性、高齢者問題、まちの活性化、環境問題等々、未来へ多くの課題を抱えています。こうした中で、おざわ良央の大きなテーマは、市民の「命を守る」です。一つは、県西地域の医療提供体制の充実のため、二大基幹病院の小田原市立病院と県立足柄上病院の連携強化と効率的な再整備。

一つは、富士山噴火や高潮被害等から、地域を守る防災機能強化を目指した「伊豆湘南道路」計画の推進。この二大テーマを、おざわ良央の未来へ向けてのさまざまな課題の中心に据えて、全力を尽くしてまいります。